

# 10. 精神保健

精神障害者の支援については入院医療中心から、地域におけるケア体制を中心とした流れとなっている。平成18年4月から、精神障害、身体障害、知的障害の三障害について、障害種別によらず障害のある人ができるだけ地域で自立した生活がおくれるように総合的に支援するため、障害者自立支援法が施行された。

区の保健所は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下、精神保健福祉法と略す）や障害者自立支援法に基づき、地域住民の精神的健康の保持・増進、精神障害者の早期治療の促進を図るとともに、精神障害者の社会復帰及び自立と社会経済活動への参加と促進に向けて取り組んでいるところである。

なお、精神保健福祉法の「精神障害者」とは、総合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害、精神病質その他の精神疾患を有する者をいう。

## [1] 精神障害の発生予防と精神的健康の保持増進

### (1) 普及・啓発

年度	区分	開催回数 (回)	参加人数 (人)	22年度テーマ(主なもの)
18年度		137	2,440	①精神保健福祉セミナー(3回)128人 「地域で生活するということ」 「コーチングで目覚めすっきり」 「お酒を飲むとよく眠れる？」
19年度		37	3,394	
20年度		13	1,380	②ゲートキーパー養成講座(4回)69人
21年度		21	1,518	③デイケア家族会(池袋3回)18人
22年度		14	1,679	④こころまつり(長崎1回)1,145人
	池袋	11	495	⑤健康教育講演会 「薬物とアルコール」(1回)280人
	長崎	3	1,184	⑥精神保健福祉ボランティア講座(2回)39人

(2) 精神保健福祉相談

精神障害者並びに関係者に対し、専門医による相談を行なうとともに、随時、保健師等による相談、又は訪問活動を行なっている。

① 訪問指導・精神保健福祉相談（随時の所内相談・電話相談）

( ) は実数（単位：件）

訪問指導	区分 年度	合計	一般	社会復帰	老人精神	心の健康 づくり	児童・ 思春期	依存症	その他	保健師	福祉
	18年度	612	414	53	9	92	18	11	15	(221) 575	(23) 37
19年度	686	465	103	2	80	3	26	7	(238) 630	(54) 56	
20年度	528	371	50	5	53	12	28	9	(193) 501	(22) 27	
21年度	403	318	7	3	19	13	27	16	(169) 355	(23) 48	
22年度	331	266	5	0	41	3	12	4	(112) 287	(29) 44	
	池袋	158	126	4	0	17	7	1	(49) 114	(29) 44	
	長崎	173	140	1	0	24	5	3	(63) 173		
所内相談・ 電話相談	区分 年度	合計	一般	社会復帰	老人精神	心の健康 づくり	児童・ 思春期	依存症	その他	保健師	福祉
	18年度	4,088	2,524	762	87	376	93	151	95	2,800	1,288
	19年度	3,023	1,989	545	33	237	47	148	24	2,882	141
	20年度	4,098	2,986	592	31	263	52	150	24	3,888	210
	21年度	3,530	2,995	131	35	179	29	129	32	3,013	517
	22年度	3,189	2,633	94	35	238	29	143	17	2,507	682
		池袋	2,146	1,730	29	29	196	120	15	1,464	682
	長崎	1,043	903	65	6	42	23	2	1,043		

② 精神保健福祉相談（定期）

区分 年度	専門相談				豊島家族会	
	精神保健福祉相談 (精神科医師)		家族問題相談 (精神保健福祉士等)		グループ活動	
	回数(回)	延人数(人)	回数(回)	延人数(人)	回数(回)	延人数(人)
18年度	18	40	5	6	12	161
19年度	18	36	6	9	12	171
20年度	18	41	5	11	10	107
21年度	16	45	6	11	10	113
22年度	18	45	6	12	8	74
池袋	12	28	6	12	8	74
長崎	6	17				

③ 嗜癖相談（池袋保健所） [ ]は実数

区分 年度	嗜癖個別相談 (精神保健福祉士等)	
	回数(回)	延人数(人)
18年度	6	11[11]
19年度	6	8 [8]
20年度	6	10[10]
21年度	5	15[15]
22年度	5	9 [9]

④ 関係機関連絡

(単位：件)

区分 年度	合計	医療機関	福祉関係	保健関係	その他
18年度	1,830	494	951	176	209
19年度	1,836	463	1,114	72	187
20年度	1,687	312	1,082	130	163
21年度	1,757	408	966	248	135
22年度	2,066	535	1,121	272	138
池袋	833	233	354	182	64
長崎	1,233	302	767	90	74

## [2] 医療

(1) 精神障害者の入院に対する区長同意（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第21条及び第33条1項）

医療保護入院の必要があるとの診察結果があり、本人の入院同意が得られない精神障害者において、後見人・配偶者等の保護者がいない、又は保護者の同意を得るのが困難な場合、区長が保護者の代理として同意書を交付する。

（単位：件）

年度 \ 区分	交付数
18年度	41
19年度	45
20年度	55
21年度	40
22年度	63

(2) 指定医の診察及び措置入院

精神障害者の診察及び保護の申請と警察官による通報（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第23条・24条）

法23条 … 精神障害者又は、その疑いのある者を知った者は、誰でもその者について指定医の診察及び必要な保護を保健所長を経由し都知事に届けることができる。

法24条 … 警察官は、精神障害のため、自傷他害のおそれがあると認められるものを発見したとき、保健所長を経由し都知事に通報する。

□池袋保健所

（単位：件）

年度 \ 区分	診察及び保護申請	警察官通報
18年度	0	87
19年度	0	73
20年度	0	68
21年度	0	51
22年度	0	62

(3) 自立支援医療（精神通院医療）

平成18年4月の障害者自立支援法の施行により、精神保健福祉法第32条に基づく精神通院医療費公費負担制度から、新しい自立支援医療費制度に変わった。

このため、これまでの公費負担制度の利用者に案内し、利用者は自立支援医療費の申請手続きを行ない移行（一斉更新）した。

□平成18年4月時点におけるみなし認定申請状況

(単位：件)

区分	案内件数 (都及び池袋)	みなし認定	割合(%)
池袋	1,736	1,309	-
長崎	861	695	-
総数	2,597	2,004	77.2

□申請取扱件数

(単位：件)

年度 区分	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
						池袋	長崎
新規	-	333	335	397	490	332	158
更新	-	1,798	1,911	2,122	2,257	1,417	840
再開	-	261	249	289	214	143	71
他県転入	-	34	47	30	32	28	4
変更等	-	970	1,042	1,052	1,224	781	443
合計	-	3,396	3,584	3,890	4,217	2,701	1,516

□疾病分類別申請数（診断書提出分）

(単位：件)

分類	年度						
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	池袋	長崎
症状性を含む器質性精神障害	15	45	52	49	13	9	4
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	25	83	87	107	64	44	20
統合失調症、分裂病型障害及び妄想性障害	126	846	918	956	410	186	224
気分（感情）障害	245	1,069	1,104	1,158	565	333	232
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	35	147	143	141	71	47	24
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	-	9	6	11	6	4	2
成人の人格及び行動の障害	1	21	20	16	7	7	0
精神遅滞	15	35	29	27	8	5	3
心理的発達の障害	12	14	23	32	18	13	5
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	1	4	4	10	2	1	1
特定不能の精神障害	-	0	1	0	0	0	0
てんかん	20	117	121	126	37	26	11
睡眠障害	-	0	0	0	0	0	0
その他	35	2	0	0	0	0	0
総数	530	2,392	2,508	2,633	1,201	675	526

(注1) 疾病分類は、保健師業務年報に準じた区分。

(注2) 申請数を認定数とみなす。

(注3) 平成22年度から更新時の診断書の提出が2年に1度となったため、新規申請及び診断書提出のある更新申請のみ記載。

(4) 小児精神障害公費（18歳未満入院医療費自己負担分）負担申請状況（東京都医療費助成実施要綱）

（単位：件）

年度	区分	総数
18年度		1
19年度		5
20年度		1
21年度		1
22年度		4
	池袋	4
	長崎	0

[3] 社会復帰及び自立と社会参加の促進

(1) 精神障害者保健福祉手帳申請状況（単位：件）

年度	区分	総数
18年度		397
19年度		504
20年度		564
21年度		656
22年度		646
	池袋	413
	長崎	233

（注）手帳の有効期限は2年間。

(2) 障がい者生活訓練事業（保健所デイケア）

回復途上にある精神障害者に対する日常生活における自立援助を実施することにより、社会復帰への適応を図るため、平成元年度から池袋保健所、平成2年度から長崎保健所（現・長崎健康相談所）で週3回実施していたが、平成19年度から池袋保健所一か所に統合され週1回（毎週水曜日）になった。

専門スタッフの支援のもとに、グループによる料理・創作活動・レクリエーション・自立支援事業所見学などを実施している。

□実施状況

年度	区分	実施回数(回)	実利用者数(人)			延利用者数(人)			延見学者(人)	家族会	
			計	男	女	計	男	女		回数(回)	参加者(人)
18年度		343	31	16	15	1,920	793	1,127	240	10	76
19年度		102	13	5	8	607	246	361	118	4	32
20年度		100	12	4	8	578	183	395	124	4	24
21年度		96	3	3	0	167	167	0	95	3	13
22年度		95	11	9	2	221	182	39	284	3	18

(3) ノーマライゼーションの推進

長崎健康相談所では、心に障害を持つ人たちの社会参加をすすめるため、地域活動支援センターや自助グループ、ボランティア等の関係機関と協働して企画・運営し、地域住民との交流の場としての「こころまつり」を開催している。

実施日時	平成22年11月13日（土）午前10時45分～午後2時30分
実施場所	長崎小学校
周知方法	区広報紙、手作りポスター、チラシ等
参加人員	1,145名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売コーナー（手工芸品・草花・野菜・軽食・リサイクル品等）</li> <li>・体育館企画（合唱団・長崎獅子舞・ダンスステージ等）</li> <li>・精神保健福祉関係の社会資源や心の健康展示コーナー</li> <li>・保育園児によるこころの絵</li> <li>・フリーマーケット</li> <li>・スタンプラリー</li> </ul>

(4) 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行なった者の支援

平成17年7月6日、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行なった者の医療及び観察等に関する法律」（以下、「医療観察法」と略す）が公布された。「重大な他害行為」とは、殺人、放火、強盗、強姦、強制わいせつ（これらの未遂も含む）、傷害（軽微なものは対象にならないこともある）にあたる行為である。

重大な他害行為を行ない、心神喪失者又は心神耗弱者と認められて不起訴になった人、心神喪失を理由として無罪の裁判が確定した人、心神耗弱を理由として刑を減軽する旨の裁判が確定した人（実際に刑に服する人は除く）を対象としており、社会復帰について、手厚い専門的医療と退院後の継続的な医療を確保し、円滑な社会復帰を促進するための制度である。

本制度を利用して社会復帰を目指す障害者の地域移行の支援を実施している。

□医療観察法に基づいて処遇された者の内訳

(単位：人)

年度	区分	殺人	放火	強盗	強姦	強制わいせつ	傷害
		18年度	-	1	-	1	-
19年度		0	1	0	0	0	0
20年度		1	1	0	0	0	0
21年度		0	0	0	0	0	1
22年度		0	0	0	0	0	0
	池袋	0	0	0	0	0	0
	長崎	0	0	0	0	0	0

#### [4] 自殺・うつ病の予防

##### (1) 対策委員会

幾つかの危機要因が連鎖した末に人は自殺に追い込まれていることから、その予防対策については関係機関の連携が重要となっている。平成23年1月に「自殺・うつ病の予防対策委員会」を設置し、関係する地域活動団体や行政機関が集まり豊島区の自殺・うつ病予防について検討している。

□実施状況

年度	区分	実施回数(回)	参加委員(人)
22年度		1	17

##### (2) 普及啓発

自殺・うつ病に関する偏見をなくし、正しい知識を普及するための情報を発信している。

□実施状況

区広報・ホームページ	広報9月5日号「気づいてくださいこころとからだの限界サイン」 広報3月1日号「こころの健康特集号」 区ホームページ「自殺予防」
講演会(再掲)	「コーチングで目覚めすっきり」9月 「お酒を飲むとよく眠れる？」3月
その他	パネル展示・リーフレット配布(庁舎ロビー 9月) ポスター掲示・リーフレット配布(中央図書館 3月)

##### (3) ゲートキーパー養成講座

相談窓口をはじめ地域で活動する方が、周囲の人の変化に気づき、声をかけ、必要な相談機関や専門相談につなぐことにより、その方が抱える問題を解決して自殺危機の連鎖を断ち切ることができるよう、「ゲートキーパー」を養成する講座を実施している。

□実施状況(再掲)

年度	区分	実施回数(回)	参加人数(人)	対象
21年度		6	252	民生・児童委員
22年度		4	69	区民ひろば職員、区民

##### (4) 面接・電話相談

死にたいと考えるほど辛い状況を誰かに話すことで、その人が混乱した状態から脱することができたり、自殺を思い留めたりするきっかけになることから、保健師等による随時相談を実施している。

□自殺相談件数(再掲)

(単位：件)

年度	区分	面接相談	電話相談
21年度		11	44
22年度		26	37